



当院は、医学部学生、看護学生、介護コース学生などのティーチングホスピタルです。多くの学校の学生が研修する三重県では数少ない病院の一つです。当院のスタッフだけではなく、入院している皆さん、外来を受診される皆さん、協力をお願いします。人を育てるにはエネルギーが要りますが、育った人を見るのは楽しいです。暖かく学生さんを迎えてください。学生に選ばれる病院に発展していきましょう。

最後に情報発信の面です。「三重病院ニュースレター」編集委員の皆さん、毎月1回、とぎれることなく発行して下さり有り難うございます。2009年(平成21年)6月からカラー版となり、ますます充実したと思います。今年も編集をお願

いいたします。職員の皆さんも、楽しかった病棟行事、趣味の話、渡り廊下のオブジェ、学会の参加記録、各対策チームの活動など、原稿を気楽に寄せてください。編集委員に成り代わりをお願いいたします。

昨年は、職員の皆さんの活躍により病院に活気がみなぎり、経営も順調に推移しました。今年も12月の病院忘年会で楽しい話ができるよう、ご協力よろしく申し上げます。

最後に、地域の皆さま、医療関係者の皆さま、三重病院は引き続き地域との連携を一層密にして医療の向上をめざして活動して行きます。今年もよろしく申し上げます。

● 三重病院 ミニ★ニュース ●

庵原院長 人事院総裁賞 受賞!

平成22年12月9日、当院の庵原院長が第23回「人事院総裁賞(個人部門)」を受賞いたしました。

昨年4月にメキシコに端を発した新型インフルエンザA(H1N1)が、国内でも猛威をふるった時に、当院院長がこのインフルエンザHAワクチンの臨床試験の治験調整医師として治験を主導し、急がれた国産ワクチンの早期開発を実現させ、公務の信頼の確保と向上に寄与した功績が認められ今回の受賞に至ったもので、三重県内では初の受賞となります。

人事院総裁賞とは…国民全体の奉仕者としての強い自覚の下に職務に精励し、国民の公務に対する信頼を高めることに寄与した職員の功績を讃える賞です。



第23回を迎えた人事院総裁賞の授与式は、平成22年12月9日、東京都内において行われ、その後、皇居において天皇皇后両陛下のご接見を賜りました。

(管理課 新保 陽人)

神谷 齊 三重病院名誉院長 クローズアップ現代に出演!

平成22年12月6日、NHKの人気報道番組クローズアップ現代が取り上げた「ワクチンが打てない遅れる日本の予防接種ー」に、コメンテーターとして出演いたしました。

神谷 齊名誉院長は、医療先進国である日本の予防接種の分野の遅れを指摘し、古くなり時代のニーズに合わなくなった予防接種法を大改正し、必要な予防接種を無料実施する体制作りが早急に必要だと熱く語りました。

(薬剤科 山本 由紀)

医療福祉相談室だより

医療福祉相談室には
小さな図書コーナーがあります

子どもの病気(難病・発達障害・こころの病気)に関するものから、介護する側・される側、子育てのヒントになる本、話題の本などおいています。ソーシャルワーカーが面接中の時はお部屋に入れませんが、それ以外はいつでもかまいませんので外来・入院問わずふらりのぞいてください。



「死ぬときに後悔すること25」

大津 秀一 作 / 致知出版社

緩和ケアの専門医である著者が、終末期に語られた後悔を我々に紹介することで、後悔しない生き方をしよう!と提案する。例えば、生前の意思を示さなかったこと、自分のやりたいことをやらなかったこと、美味しいものを食べておかなかったこと、記憶に残る恋愛をしなかったこと、自分の生きた証を残さなかったこと、愛する人にありがとうといわなかったこと…など「代表的な悩み25話」があげられている。生きる意味は自分自身でつけなくてはならない。かけがえのない自分に、必ず訪れるその日まで、「かつての誰か」の後悔を参考にさせてもらってはどうか。

(ソーシャルワーカー 高村純子)

